

一 般 質 問

山崎澄子議員

町内全域の防犯灯について

議員 普段何気なく利用している道路も改めて見回すと防犯灯が途切れ暗く感じられます。町では防犯灯の間隔はどのように設置しているのか。電柱のない所にも設置を。

現在の蛍光灯は暗く照らす範囲も狭い。新設のものはLEDに、既成のものもLEDに変えていく。

国道254号沿線においても防犯灯は皆無に等しい。防犯や交通弱者に対する配慮を伺います。

町長 防犯灯の設置数につきましては平成26年末現在で1561基、平成25年度は276基の新設、修繕に際してはLEDへの交換等を行っています。平成26年度も32基の新設を予定しています。

このように防犯灯は毎年、区長からの要望を取



りまとめ、議会議決された予算の範囲内で設置しているところでありますので、ご理解をお願い申し上げます。

山崎澄子議員

講演会や催し物 会場に託児所を

教育長 講演会や催し物の中には子育て中のお母さんたちにも参加してもらいたいものもあります。町での託児所の開設は、人力的にも費用的にも難しいと考えています。

昨年開催された女性ネットワークとさくらマザーズの共催の「台所に立つ子供たち」では、主催者が託児所を設け運営していました。

こうした例のように、今後、託児所の必要な講演会等がありましたら、主催者や関連団体のボランティアによる託児所の開設が望ましいと考えています。

議員 公民館や文化会館ではかなりの数の講演会や催し物が開催されているが、内容によっては子育てママも参加したい。ぜひ参加してもらいたい講演内容も多々あります。

参加する事によって多くの人の啓発にもつながります。そのためにも託児所を設置したらどうか。



富岡朝男議員

グラウンド・ ゴルフ場の設置を

議員 町内には3000人を超える愛好家があり、年間を通して健康保持や交流を深めています。

愛好者の方々から折に触れて、専用のグラウンド・ゴルフ場が欲しいとの声を聴きます。

①グラウンド・ゴルフ専用コースを設置したらどうか。②設置するコースは認定コースになりうるコースを造つてはどうか。③子供や若者との交流ができるよう一中または二中の跡地にしてはどうか。

町長 ①多くの老人クラブの皆さんは、総合公園や地元の広場等にうまく分かれて練習されています。大会を開くととなると現在ある大きな会場でやらざるを得ないと思えますが、兼用グラウンドのため荒れているのも事実で、



今後一層の維持管理に努めていきたいと考えます。②大会（陸上競技場）のコースは、認定コースと同じ設定なので、認定は取れるのではないかと思います。③皆さんのご意見を聞きながら総合的な観点から有効な土地利用を検討します。

山崎愛子議員

子ども支援課 (センター)の創設を

町長 組織・機構の改編については、当面は、町民の要望に的確に答えながらも、限られた人員の中で、業務を効率的、効果的に遂行していくことのできる体制づくりを念頭に、業務全般について熟慮した上で、業務分担を見直す等の措置を講じていきます。

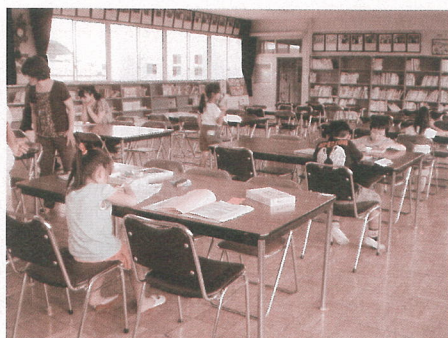


議員 役場に子育て支援課を創設し、課長ら職員に女性を多く配してほしいです。子育て中の母親への支援が町の人口増につながり、国の地方創世策とも合致すると思います。子どもが発熱しても仕事を待つ母親は簡単には休めない。そこで町内の医院の託児所に子どもを預け出勤する。そのためには院内の保育施設に保育士を派遣する。支援課は病児、病後児託児所を造るとともに父母や医院との連携を業務とする件を提案します。

山崎愛子議員

放課後子ども教室の 充実を

議員 放課後子ども教室が好評です。時間延長などの充実を提案します。同教室は、地域住民が放課後に図書室などで小学1年～3年生を午後4時まで世話をしています。しかし、父母から時間延長を望む声が上がっています。年度ごとに30分ずつ延長する試みを来年度からできないものでしょうか。「子育てするなら甘楽町」を実践したいものです。



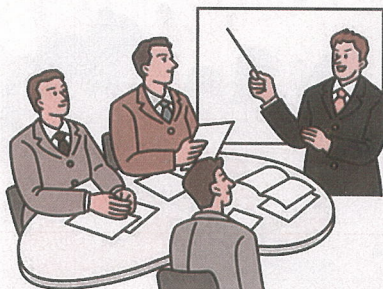
町長 文部科学省と厚生労働省が、平成26年7月に提唱した「放課後子ども総合プラン」に基づき、検討を進めているところです。これにより子どもたちが安全で健やかに活動できる場所を確保し、地域ぐるみで取り組む総合的な放課後対策の推進を図って参ります。



山崎愛子議員

日本でも有名な取り組みを している市町村へ 役場職員の出張研修を 推進してほしい

議員 町職員には既に研修が行われていますが、子育てや障害者、高齢者福祉などで、国内で高い評価を得ている自治体への出張研修を提案します。例えば、石川県川北町や長野県南箕輪村は数多くの成果を挙げています。課長級だけでなく、係長、若手職員も派遣することで、業務に更なるアイデアが生まれると思います。



町長 先進地に学ぶことは多く、これまでも業務を遂行するうえで必要な研修は実施しております。現在は、研修に伴う旅費や時間も節約できることから、インターネット等を活用した情報収集の割合が増えているようです。しかし、現地を訪れ、目で見て体で感じることもあります。業務に応じた先進地視察研修等を通じて、職員一人ひとりの意識改革と公務遂行能力の向上、人材育成に努めてまいります。

山崎愛子議員

甘楽町に ケーブルテレビの設置を

町長 ケーブルテレビは、山間部や離島等の電波が届きにくい地域のテレビ視聴を可能にするなどの目的で整備がされています。

ケーブルテレビの導入には多額の費用がかかり、現在の町の財政状況から設置する考えはありません。今後町の情報は防災無線、広報誌やホームページにより広く住民の皆様に伝えていきます。

議員 当町も高齢者が急増しています。テレビ映像は情報を理解しやすく即座に伝わる長所もあります。ケーブルテレビの導入を提案します。

南牧村や上野村で導入され、住民に重宝されています。上野村ではインターネットとも連動し、村内外に地域のよさを発信し観光客も増加しています。放送は町のお知らせやイベント、学校の様子ほか防犯の呼びかけ、町の記録にもつながります。



山崎愛子議員

町指定天然記念物である 樹木の管理について

議員 当町には町指定天然記念物である樹木が多くあります。その管理状態を教えてください。

教育長 秋畑のヒイラギにつきましては、樹木医に診断していただき、平成12年度に樹勢回復処置を行っています。

それら樹木には管理が行き届いているものがある反面、人間でいえば虐待状態にあるものも。例えば秋畑の柵、周囲の土が流れ、伸びた根は腐りが見えます。積もった落ち葉が流れ出ないような囲いが必要でしょう。

また、「木の周りの土が流れ長く伸びた根が腐って気の毒だ」とのご指摘ですが、もともと表土のない岩盤に根を張り、推定530年の歳月を生き延びたヒイラギです。安易に現状変更するようなことは価値を損なうことになりかねません。もとより所有者がおられ管理されていますので、今後

も必要に応じて所有者や樹木医と相談し適切な管理に努めていきます。

も必要に応じて所有者や樹木医と相談し適切な管理に努めていきます。

